

大城 凌子

名桜大学 人間健康学部 看護学科 助教

コミュニティにおける「ゆんたく」を活かした健康増進およびエンパワメントに関する研究

本稿は、沖縄県北部地区の住民が主催する名護市宮里区「朝市」に参加している人を対象にした健康相談活動の報告である。住民が自らの健康問題を意識し健康な地域づくりに協働参画する場を創造していくための新たな試みとして“住民とのゆんたく”を活かしながら大学と地域との連携の一環としてアクションリサーチを実施した。今回のアクションリサーチの目的は、1)地域住民の健康問題を明らかにする。2)沖縄独自の「ゆんたく」を活かしたヘルスアップ活動を行う。3)この活動が地域住民の健康増進およびエンパワメント効果に有用であるかどうかを明らかにすることである。

文化を共有するコミュニティにおいて、住民の交流を基盤とした健康増進やコミュニティのエンパワメントに関する予防医学的介入は、深刻化しつつあるメタボリック症候群などの生活習慣病を予防する観点からも重要になってくるものと考えられる。